

平成27年9月

Abir Majbauddin 学位論文審査要旨

主 査 藤 井 潤
副主査 千 酌 浩 樹
同 領 家 和 男

主論文

The effect of bamboo leaf extract solution and sodium copper chlorophyllin solution on growth and volatile sulfur compounds production of oral malodor associated some anaerobic periodontal bacteria

(口臭に関連した嫌気性歯周病菌の成長と揮発性硫化化合物生成に及ぼす笹の葉抽出液と銅クロロフィリンナトリウムの効果)

(著者：Abir Majbauddin、小谷勇、領家和男)

平成27年 Yonago Acta medica 掲載予定

参考論文

1. 口唇裂・口蓋裂患者の臨床統計的検討—合併した先天異常について—

(著者：吉田優、土井理恵子、西尾幸与、Abir Majbauddin、川崎誠、小谷勇、領家和男)

平成26年 日本口蓋裂学会雑誌 39巻 28頁～33頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、口臭の原因となる揮発性硫化化合物を産生する口腔内嫌気性歯周病菌に対する笹の葉抽出液と銅クロロフィリンナトリウムの抗菌作用を検討したものである。その結果、笹の葉抽出液と銅クロロフィリンナトリウムは、口腔内嫌気性歯周病菌に対し濃度依存的に高い抗菌作用を持ち、特に笹の葉抽出物の抗菌作用のほうが銅クロロフィリンナトリウムに比べ比較的高いことを示した。さらに、これらの物質の持つ抗菌作用は静菌的である可能性が考えられた。本論文の内容は、口臭や他の嫌気性歯周病菌によって生じる疾患の予防に有用な物質である可能性が示され、明らかに学術水準を高めたものと認める。